

(株)高木の古庄氏が合格

神戸で「SP」認定試験



面接試験＝神戸インドクラブで

日本真珠振興会・真珠検定委員会（略称J.P.P.S.、寛田譲治委員長）は7月12日、神戸インドクラブ（神戸市中央区山本通1丁目）で第1回SP認定試験を実施し、10人が受験。（株）高木の古庄功一氏（五五）が合格し、「SP（スペシャリスト）」資格取得者が初めて誕生した。古庄氏のプロフィールは、一般社団法人日

本真珠振興会・真珠検定委員会
<https://www.pearl-experts.net/theme.php?id=66>



面接試験（会長参加）＝神戸インドクラブで

実技試験はアコヤ真珠連を務めた寛田委員長（寛田氏の選別で、試験官は倉本達氏（倉本真珠（株）社長）、森田雅人氏（株）タカハシパー（北村真珠養殖（株）社長）、上田崇史氏（あこや真珠（株）社長）、西岡隆弥氏（有子真珠（株）社長）、浦口寿人氏（有ウラケイパール社社長）（株）清美堂真珠社長の長）。面接試験は、面接官質問に答えるもの。受験生



試験終了後、総評説明時の風景＝神戸インドクラブで



実技試験＝神戸インドクラブで

は「何日か徹夜するほど準備して臨んだ」「知識のあやふやさを実感した」「難しかった」「緊張した」などの感想を話していた。主催者は「面接官・試験官数人を前に、一人づつ受験する形式だったため、緊張感が漂っていた。緊張で頭が真っ白になったとの感想も多かった」「検定側としては、基礎的な知識の確認と真珠に携わるスペシャリストとしての品格や姿勢を問うことを目的としていたが、真珠の経験が長い人でも『何となく』の解釈が多い現状を目の当たりにした」「今一度、業界全体として簡潔明快な統一理解を促す教育システム・カリキュラムの整備と普及の必要性を感じ、今後、真珠検定でこの部分を担うべく、更なるカリキュラムの充実を図っていくべしとの認識を新たにしたい」と初めての開催を振り返っていた。